

おだがいさま

odagaisama

第82号
令和元年
6月1日発行

仲間と共有する楽しい時間



ダンスと福祉をつなぐ活動をしている
Kickin' Dance fam代表の菊地将晃さん(写真中央左から3番目)に
お話を伺いました

◆Kickin' Dance fam (キッキングダンスファミ)とは

ダンスを通じて多くの人と共に楽しむ時間を共有することを目的に活動しています。

メンバーは小学生から大人まで20人で、週1回練習しています。依頼に応じて県内外の各種イベント等に参加しています。

【活動状況】

日時 毎週1回(曜日不定) 19時~20時

場所 鶴岡市総合保健福祉センター

にこ心ふる3階

【問合せ先】

Kickin' Dance fam代表 菊地将晃

Mail kickin.d.family@gmail.com

サークルの特徴は？

障がいの有無にかかわらず、ダンスを通じて様々な人と交流を図っています。コミュニケーションを取るのが苦手なメンバーが、ダンスをするようになってから以前よりコミュニケーションが取れるようになるなどの変化が現れることもあります。

活動を行う上で大切にしていることは？

とにかく楽しんで活動しています。メンバーの家族からも協力をいただきながら、一緒に活動を創っていくことを心掛けています。

今後の活動予定は？

6月22日、山形市の日本一のさくらんぼ祭り、8月17日、神奈川県で「ゲキワルナイト」(障がいのある方も安心して遊べて、様々な年齢層の方々も一緒に遊べるダンスイベント)に参加予定です。

鶴岡市社会福祉協議会

令和元年度 事業計画と予算

3月に開催された評議員会で今年度の鶴岡市社会福祉協議会事業計画と予算が承認されました。

5つの重点事業

1 法人運営の充実・強化

「発展・強化計画（第2期）」において「法人組織運営と組織体制の強化」として位置付けた各種取組を整理しながら、組織強化、人材育成に努めます。また、監事並びに会計監査法人からの指導のもと、財務規律の強化、ガバナンスの強化を更に進めます。

2 地域福祉活動の推進

地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」における、住民主体による地域福祉活動を推進するとともに、地域包括支援センターに配属されている生活支援コーディネーター^{*1}の活動との協働や連携、コミュニティソーシャルワーク^{*2}実践を充実するための仕組みや個別支援を行える体制整備を更に強化し、並びに福祉教育の充実に努めます。また、「地域支え合いプラン」を地域の関係団体等と協力して計画的に実施し、同時に、社会福祉法人連携による「地域における公益的な取組」を継続して進めます。さらに、鶴岡青年会議所と締結した災害時の協力に関する協定^{*3}を生かし、災害ボランティアセンターが機能できる体制づくりに努めます。

3 自立相談支援事業と権利擁護活動の推進

開設5年目となる鶴岡地域生活自立支援センター「くらしス」の活動、課題を踏まえ、新たな生活支援サービスの検討、並びに生活困窮者就労準備支援事業（市受託）を実施します。また、地域包括支援センター、障害者相談支援センター等と協力しながら、権利擁護活動及び成年後見制度の啓発活動を進めます。

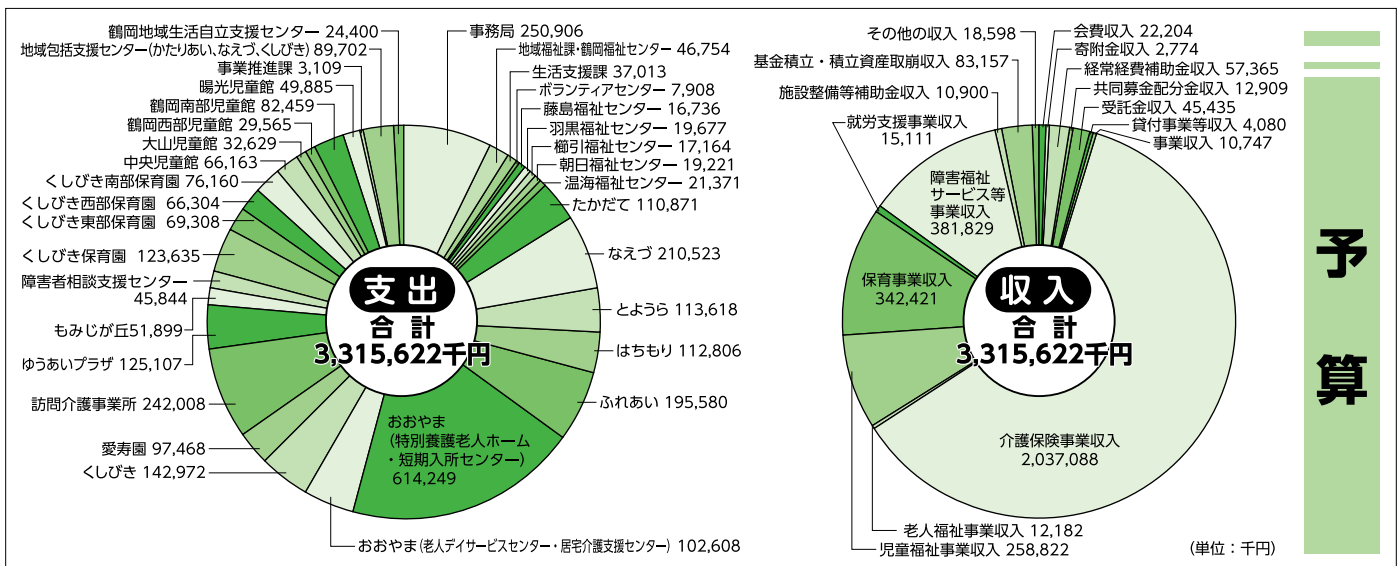
4 高齢者福祉、障がい者福祉事業の充実

「第二期事業経営計画」については中間年の検証を踏まえ計画的に事業を推進するとともに、各施設における地域貢献活動を更に進めると同時に、国が提唱する、高齢者と障がい者への福祉サービスを分けずに同一の事業所で一体的に提供していく「共生型サービス」の検討を進めます。また、「介護職員実務者研修通信課程」（全社協受託事業）開校2年次として、同事業の更なる充実に努めます。

5 児童福祉事業の充実

保育園、児童館、学童保育所及び放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の事業運営については、特に事務管理の効率化、リスクマネジメント体制の強化を継続して進めながら事業の充実に努めるとともに、各施設における地域貢献活動を進めます。また、くしびき保育園において、新たに体調不良児対応型の病児保育事業を実施します。

*1 生活支援コーディネーター：高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者。
 *2 コミュニティソーシャルワーク：援助を個別化するだけでなく、地域（社会）共通の課題と捉え、個人の援助とそれを支える地域（社会）の活動への支援を同時並行的に働きかけていく活動。
 *3 鶴岡青年会議所と締結した災害時の協力に関する協定：鶴岡青年会議所から、鶴岡市で大災害が発生し災害ボランティアセンターが設置されたときに、人材の派遣や資機材等の調達などを協力したいという申出があり、平成30年12月26日に「鶴岡市災害ボランティアセンターの運営等に関する協定」を締結した。



事業計画

鶴岡市社会福祉協議会は、本市における地域福祉推進の中核団体として、それぞれの地域の歴史と特性を基に、住民がお互いに支え合い、安心した暮らしと優しさを育む福祉のまちを創るため、住民の主体的参加と行政並びに関係団体、他社会福祉法人との協働による『おだがいさまのまちづくり』を推進します。

地域福祉事業	<p>地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」(28年度～32年度)に基づいた地域福祉推進活動を更に進めるとともに、次期計画に向けた評価を行います。</p> <p>○福祉コミュニティづくり事業 学区・地区社協に対する活動助成金の交付や、学区・地区社協連絡委員会の運営及び情報交換会、研修事業の実施により、新たな地域課題等の把握・啓発を図ります。学区・地区ごとの「地域支え合いプラン」策定を促進し、住民主体の地域福祉活動の指針、基盤づくりを推進します。</p> <p>○おだがいさまのまちづくり事業 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために、小地域における見守り・支え合いなどの福祉活動や、地域課題の把握と対応の仕組みづくりを支援し、地域の福祉意識を高め、住民主体活動の強化を図ります。 ・福祉活動支援事業 ・おだがいさまネット活動推進事業 ・人にやさしいまちづくり事業 ・地域福祉の担い手発掘・養成事業 ・福祉関係団体等助成事業 ・仲間づくり交流事業</p> <p>○会食・配食・交流事業 学区・地区社協等が実施主体となり、コミュニティセンター、公民館単位で会食・配食サービスやレクリエーションなどの交流活動を通し、仲間づくりと見守り、生活支援を図ります。</p> <p>○福祉有償移送サービス事業 要介護等認定者、身体障害者手帳・療育手帳所持者で、公共交通機関の利用が困難な方々に対して、福祉車両により通院などの外出を支援します。</p> <p>○ボランティア活動推進事業 NPO法人、青年会議所、教育委員会等と協力して、ボランティアの発掘・育成、災害ボランティアセンターに関する取組、高校生ボランティア支援を重点的に推進します。小・中学校への福祉学習に関するアンケートの結果を基に、効果的な福祉学習に取り組みます。</p> <p>○地域福祉運営事業 社協事業を広く住民に紹介する「福祉のつどい」の開催長寿者をお祝する「鶴亀番付」の発行</p> <p>○大震災等支援活動推進事業(県社協受託) 鶴岡市へ避難している方々へ必要な情報提供や関係機関と連携した個別訪問を行うなど、状況に応じた相談支援を行います。</p> <p>○地域における公益的な取組の推進 社会福祉法人が有する専門性や人材を活用した公益的な取組による地域づくりについての研修(29年度・30年度)を踏まえ、生活課題解決に向け具体的に活動を進めるため、社会福祉法人を対象とした仕組みづくりを進めます。</p> <p>○家族介護者交流支援事業(市受託) ○食の自立支援事業(市受託) ○福祉バス運行事業(市受託) ○共同募金配分金事業</p>	生活支援事業	<p>認知症高齢者、知的障がいや精神障がいなどの認定を受けている方だけでなく、地域には日常生活の中で様々な支援を必要としている方々が潜在しており、こうした方々も含めた広い対象者への多様な支援が求められている状況を踏まえながら、成年後見制度や日常生活自立支援事業を中心とする生活支援事業に取り組みます。</p> <p>○ふれあい福祉相談事業 福祉全般に関わる相談や、相続・多重債務など関係機関協力の下、無料法律相談(予約制)を年14回開催します。</p> <p>○日常生活自立支援事業(県社協受託) 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が自立した生活を送られるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理の支援を行います。</p> <p>○成年後見推進事業 成年後見制度による後見人となり、専門家による後見活動へのアドバイスを受けながら被後見人の生活、療養看護及び財産の管理を行い、個人の権利を擁護します。後見業務を実施している受任団体とのネットワークの推進を図り、成年後見制度の普及啓発に努めます。</p> <p>○生活福祉資金貸付事業(県社協受託) ○たすけあい資金貸付事業</p>	
	<p>○地域包括支援センター(市受託) ○鶴岡市障害者相談支援センター(市受託) ○鶴岡地域生活自立支援センター「くらしす」(県市受託)</p>		高齢者福祉事業	<p>「利用者の目指す生活、自分らしい生活」を送るための支援に努め、市民、利用者から信頼され選ばれる高齢者福祉サービスを提供します。</p> <p>○在宅サービス事業 通所介護事業 訪問介護事業 居宅介護支援事業 短期入所事業 訪問入浴事業</p> <p>○入居サービス事業 特別養護老人ホーム グループホーム 高齢者生活福祉センター</p> <p>○独自事業 ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・生涯現役推進事業「なりげんき塾」</p>
	<p>○障がい者福祉事業</p>			<p>利用者が、地域の中で安心して自立した日常生活を送ることができるように、関係機関との連携を図り、意思決定の支援を心掛け、利用者の望む暮らしに向けた支援と権利擁護の推進を図ります。</p> <p>○就労継続支援事業 ○在宅支援事業 ・生活介護事業・自立訓練事業(機能訓練・生活訓練) ・居宅介護事業・重度訪問介護事業・訪問入浴事業 ・短期入所事業</p>
	<p>○児童福祉事業</p>			<p>子ども・子育て支援新制度の活用やニーズに対応しながら、子どもの健全育成を図るとともに、関係機関との連携強化と、子どもや保護者にとって安全で安心な子育て環境づくりを推進します。</p> <p>○保育園 ○児童館 ○学童保育所及び放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業) ○子育て広場</p>

鶴岡市社会福祉協議会正規職員採用試験
(令和2年4月1日採用予定)

■受験資格

昭和45年4月2日以降に生まれた方で、下記の資格・免許を取得している方又は令和2年4月末日までに取得見込みの方

- 社会福祉士 ○精神保健福祉士 ○介護福祉士
- 介護支援専門員
- 保育士 ○保健師 ○看護師 ○准看護師
- 理学療法士 ○作業療法士

■採用予定数 若干名

■試験日

- 一次試験 作文試験 令和元年8月2日(金)
- 二次試験 面接試験 令和元年9月1日(日)

■試験会場

鶴岡市総合保健福祉センター にこふる

■応募方法

○募集要項・応募書類の取得

- ・総務課職員厚生係で交付します。
- ・本会ホームページからダウンロードできます。
- ・郵便で請求する場合は封筒に「職員募集要項請求」と朱書きし、宛先を明記した返信用封筒(角形2号、140円分切手貼付)を同封して、下記まで請求して下さい。

〒997-0033 鶴岡市泉町5-30
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
総務課職員厚生係

○募集期間

令和元年6月24日(月)～令和元年7月16日(火)
午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)
※郵送の場合、7月16日(火)までの消印有効です。

赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

平成30年度に皆さまからご協力いただきました赤い羽根共同募金は、令和元年度の地域福祉推進のため施設や地域で行われる活動に役立てられます。

<本市の福祉施設・団体への配分総額：6,863,000円>

配分団体	
地域福祉 在宅福祉事業	第一学区社会福祉協議会
	第五学区社会福祉協議会
	湯野浜地区社会福祉協議会
	NPO法人明日のたね
	NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク
	NPO法人ぼらんたす
	CAP庄内
	自立支援センターふきのとう
	鶴岡市ボランティア連絡協議会
	山形県言うろ者友の会
「福祉の心」 推進事業	新形愛育会 新形保育園
	くしびき東部保育園
障がい者 小規模作業所 支援事業	NPO法人鶴岡福祉村 障害者支援オフィス「ひので」
	NPO法人一歩 多機能型作業いちほ
	NPO法人いなほ作業所
民間立 学童保育所 支援事業	第一学区学童保育所 海の子
	第四学区学童保育所 太陽の子2
	第五学区学童保育所 風っ子クラブ
	大山放課後児童クラブ 第一はらっば
	大山放課後児童クラブ 第二はらっば
福祉車 整備事業	月山福祉会 障害福祉サービス事業 スロークワーク新町
	NPO法人じゃがいも畑 デイサービスセンターじゃがいも

ご寄付ありがとうございました みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(平成31年3月9日から平成31年4月30日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- ・(株)荘内日報社 様 100,000円
- ・佐藤 以中 様 10,000円
- ・カラオケ「心の会」様 30,000円

◎羽黒福祉センター

- ・鶴岡市立羽黒小学校児童会 様 5,000円

◎朝日福祉センター

- ・伊藤 理子 様
- 敷布団3枚、掛布団6枚、タオルケット7枚、
電気毛布1枚

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・有限会社ドリームズファーム 様 大根17本

★とよら老人デイサービスセンターへ

- ・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 様
車椅子1台

★櫛引すこやかセンターへ

- ・佐久間 茂和 様 20,000円

★くしびき東部保育園へ

- ・田川建設労働組合櫛引支部 様 絵本17冊

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・佐藤 市郎 様 20,000円
- ・伊藤 武志 様 100,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- ・鶴岡点字サークル 様 10,000円

★フードバンクへ

- ・平成30年度第二学区福祉・文化祭 様 食料 100点
- ・栄地区福祉のつどい 様 食料 48点
- ・堅苔沢自治会 様 食料 110点
- ・大山サロン「おらがだの楽交」様 食料 29点
- ・小堅地区社会福祉協議会 様 食料 11点
- ・由良社会福祉協議会 様 食料 79点
- ・大部町町内会 様 食料 29点
- ・小波渡自治会 様 食料 121点
- ・三瀬地区福祉のまちづくり協議会 様 食料 41点

おだがいさま

第82号
令和元年6月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこふる2階)
TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110
ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053
藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
櫛引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

② 鶴岡市のボランティアセンターには平成31年4月末現在で56団体の登録があります。たくさんの方々がボランティア活動に取り組んでいます。